2027年度国際日本学研究科(博士前期課程)新規授業担当者　授業科目概要

（１）日本社会・産業システム研究領域

演習科目

授業科目名	職格 教員氏名	授業等の内容
日本社会・産業システム研究 演習ＩＡ	専任准教授 小野　雅琴	広告・マーケティング分野において自身が取り組む研究テーマを設定する。まず関心領域における国内外の先行研究を幅広く収集・整理し、理論的背景や既存の知見を把握する。そのうえで、これまでの研究で明らかにされてきた点と、未だ十分に検討されていない課題を整理し、自身の研究の位置づけと意義を明確にする。学期末には、研究テーマと研究の方向性について報告を行う。
日本社会・産業システム研究 演習ＩＢ	専任准教授 小野　雅琴	演習Aで整理した先行研究をもとに、研究仮説を構築する段階に入る。関連理論を体系的に整理し、変数間の関係性について検証可能な形で仮説を設定するとともに、分析モデルを設計する。あわせて、仮説検証に必要なデータの種類や収集方法（アンケート調査、実験、二次データの活用等）を具体的に検討し、調査計画を立案する。学期末には、仮説と調査設計について報告を行う。
日本社会・産業システム研究 演習ＩＣ	専任准教授 小野　雅琴	演習Bで設計した調査計画に基づきデータを収集し、統計解析を用いて仮説の実証的検証を行う。適切な分析手法を選択・適用し、得られた結果を先行研究や理論的枠組みと照らし合わせながら考察を深める。分析結果が示す含意や、研究の限界・今後の課題についても整理し、論文の中核となる分析部分を固める。学期末には分析結果と考察について報告を行う。
日本社会・産業システム研究 演習ＩＤ	専任准教授 小野　雅琴	これまでの分析結果と考察を踏まえ、修士論文全体の執筆に取り組む。序論から先行研究、分析方法、結果、考察、結論に至る論理展開を整理し、学術的な文章として構成・表現を精査する。指導教員との個別指導やゼミでの議論を通じて内容の修正・改善を重ね、完成度を高めていく。最終的に修士論文として完成させ、口述試験（口頭試問）に備える。